

1 大会名 : 第13回笹川杯近畿少年少女空手道選手権大会
兼 第6回全日本少年少女空手道選抜大会選考会

3 主 管 : 和歌山県空手道連盟

5 会 場 : 和歌山ビッグウェーブ

交 通: JR阪和線「和歌山駅」下車徒歩15分

9:30	開会式
9:50	競技開始
16:20	競技終了
16:40	閉会式
17:10	解散

8 参 加 人 員 : 学年別・男女別それぞれ4名を各府県代表選手とする。
団体組手戦のエントリーは、個人組手競技参加者に限定しない、補欠を含め各2名までとする。
団体形戦のエントリーは、個人形競技参加者に限定しない。
監督・コーチを含め、次表のとおり参加数内訳とする。

★ なお、同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。

種 目	組 手 競 技				形 競 技			
選 手	男子	1年～6年	各4名	計24名	男子	1年～6年	各4名	計24名
	女子	1年～6年	各4名	計24名	女子	1年～6年	各4名	計24名
	男子・女子組手団体戦				男子・女子形団体戦			
	男子1チーム 女子1チーム	各府県4・5・6年 3人制1チーム ※但し、エントリーは、各学年2名まで可。			男子1チーム 女子1チーム	各府県4・5・6年3人制2チーム ※エントリーは、学年を問わない。		
	組 手 計48名				形 計48名			
	選手(男・女)計 96名							
監 督	1名							

コーチ	5名 + 練習場所対応2名
総人数	104名 ※団体形・団体組手は別途考慮する

9 競技規程

(1) 競技は、公益財団法人 全日本空手道連盟(空手競技規定)により行う。

(2)ー1 形競技個人戦

① 各コートにて学年別男女別に行う。

② 1回戦から準々決勝は

(ア)旗方式(勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決)、2名同時に演武し、トーナメント方式で行う。個人戦は斜め入り後待機。

(イ)全空連基本形一～四(ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安又はピンアン初段～5段)の中から選択することと同じ形を繰返し演武することができる。

③ 準決勝ベスト4から 引き続き旗方式で行い、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記②(イ)の形でまだ競技していない形から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。

(2)ー2 形競技団体戦

① 点数制で実施する。予選ラウンド及び決勝ラウンド(予選上位4チーム)を実施する。男女別に1コートで実施する。

② 1チームずつ演武を行い、

(ア) 予選ラウンド:全空連基本形一～四(ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安又はピンアン初段～5段)の中から選択する。

(イ) 決勝ラウンド:全空連第1指定形、第2指定形、又は上記②(ア)の形でまだ競技していない形から選択する。

(ウ) 予選ラウンドで上位4チーム決定の際に、同点が発生した場合は有効点数の最低点、最高点の順に比較する。

(3)ー1 組手競技 個人戦

① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。

② 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別順に競技する。

③ 競技時間は1分30秒フルタイムとする。

④ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。

(3)ー2 組手競技 団体戦

① 小学 4・5・6年生 男・女 別 団体戦(3人制)各府県で各1チーム

② 先鋒4年、中堅5年、大将6年とする。2名でも参加可能とし、その場合は学年を合わせる。1, 2回戦は3試合実施、以降2勝した時点でチーム勝利を決定する。

(4) 安全具

① 組手全種目に全空連検定拳サポーター、メンホー及びボディプロテクターを装着すること。(リバーシブル拳サポーター着用のこと。)

なお、安全具は選手各自において用意すること。

② 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずセーフティカップを装着すること。ただし、1年・2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

③ インステップガード及びシンガードを全学年で装着すること。

④ 安全具装着のない選手は出場できないので、十分注意すること。

(5) 服装

① 監督・コーチ用IDカードは、大会当日の監督会議で配付する。

- ② 監督・コーチの服装は、ダークスーツ、又はジャケット、ブレザーの着用、全空連のエンブレムは不可、ネクタイは全空連審判員用は不可、紺、グレー系で派手な色合いは避ける、Yシャツは白色、スラックスは、紺又はグレー系、シューズは、派手な色合いは禁止とする。(全空連エンブレム、審判員用ネクタイについては、審判員と同じ服装を避けるため)
- ③ 選手は、競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。
 なお、左胸に府県名を入れること。(別紙ゼッケン・胸マークについての注意事項参照)
 選手は、染髪および脱色、ピアス、過度の空手着の変形等、競技者としてふさわしくないと判断された場合、参加を取り消す。
- ④ 青・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し、着用すること。
主催者では用意しない。

10 表彰

(1) 総合優勝の府県への賞状の授与

男女別に総合得点の最上位の府県に対し、賞状をそれぞれ授与する。また、男女総合優勝府県に、優勝旗を授与する。得点及び順位決定は次による。

- ① 各種目の入賞者に次の得点を付与する。
 1位 8点、2位 7点、3位 5.5点(2名)、5位2.5点(4名)
- ② 総合得点が同点の場合は優勝者の多い府県に授与する。
- ③ さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。

※ 前年度の男女総合優勝府県は、大会当日までに開催府県に優勝旗を返還するか、大会当日の9時までに会場受付へ返還してください。

(2) 組手・形ベスト8進出選手への賞状等の授与

優勝1名、準優勝1名、第3位2名、第5位4名

なお、対象となる選手は、必ず表彰式に参加すること。

(3) 表彰は各種目終了時にその都度行う。

(4) 表彰は、順位のみ発表し、得点は発表しない。(書類・放送共に。)

11 審判員

大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認地区審判員をもって次により編成する。

- (1) 審判長(主管府県)、副審判長(次年度開催主管府県)とする。
- (2) 原則として、各府県が推薦した地区組手審判員以上及び地区形審判員以上の資格を併せて有する審判員を、各府県より12名ずつ大会審判員(総数72名)とする。
- (3) 上記で各府県から推薦された有資格者が不足する場合は、主催の近畿地区協議会から別途推薦する。

12 安全対策

- (1) 傷害保険を、主催者(近畿地区協議会)の負担により参加者や全員に付保する。
- (2) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (3) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。

13 出場資格

- (1) 出場選手、監督及びコーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。
- (2) 出場選手は、各府県連盟が選出した代表選手であり、全空連公認段級保持者であること。
- (3) 監督・コーチは、(公財)日本スポーツ協会公認コーチ1以上または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

14 出場申込

- (1) 1名1種目とする。(組手と形の重複は出来ない。)但し団体戦は除く。

- (2) 選手出場費として1人 5,000円を納めること。
- (3) 府県対抗組手団体戦 男・女各1チームのみ 5,000円×チーム数

※大阪府小学生大会上位入賞はで強化部で推薦及び編成する。

府県対抗形団体戦 男・女各2チームまで 5,000円×チーム数

※大阪府小学生大会1位及び2位のチームとする。

- (4) 団体形は該当郡市に案内。別途定める出場申込書をメールで提出すること。
- (5) 申込書の送付及び出場費送金先(振込口座)は次のとおり。

【登録先URL】 振込証をご用意のうえ申込してください。

<https://forms.gle/SnmGyx5uR1G143yNA>

【出場費送金先(振込口座)】

りそな銀行 城東支店

普通預金 NO 0537846

※振込時は名前の前に「KS」を付けてください。

15 申込期限 ※大阪府連への申込

令和8年9月3日(木) 1次締切

16 協賛金

各府県ともプログラム広告費として、50,000円を協賛金とする。

協賛金は、選手出場費と合わせて収めること。

17 宿泊等

- (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
- (2) 開催府県による宿泊斡旋は行わない。

18 その他

- (1) ゼッケンは開催府県(和歌山県)で作成し10月7日頃に各府県に送付します。各連盟において査収のうえ、出場選手に配付してください。その際、ゼッケンが縫着されていないと参加できないことを告知し、しっかり縫い付けるよう指示してください。
- (2) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない。
- (3) 参加府県チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の監督等に当たって頂き、円滑な大会運営、事故防止にご協力ください。
- (4) この大会は全国少年少女選抜空手道選手権大会の出場者選考を兼ねており、近畿地区代表選手の選抜方法は第6回全国少年少女選抜空手道選手権大会の決定方法とする。
- (5) 判定間違いを防ぐために、記録主任を審判員資格のあるものを各府県より一名任命する。
- (6) 棄権者連絡票・形エントリーシートは、ゼッケンと同送しますので、必要事項をすべて記入し、当日監督が放送席に提出すること。

(第6回全少選抜大会における団体種目の近畿地区代表選考について)

- (1) 団体形は各府県1チームを推薦する。

本大会(近少)の団体形種目の順位をもって各府県において判断する。

※大阪府においては本大会において上位になったチームを推薦する。

(2) 団体組手は各府県1チームを推薦する。

その際に各府県において不足が生じた場合は他府県の協力を依頼することができる。

※大阪府においては「第49回大阪府小学生大会」の優勝者で構成する。

以上